

支部戦略プラン（健康づくり戦略）



全国健康保険協会
埼 玉 支 部

1. 埼玉支部 課題シート

	課題
1	健康に対する関心が低く、健診や保健指導の重要性を認識している加入者が少ないことで、健診受診率・特定保健指導実施率が全国でも最低レベルである。
2	一人当たりの医療費は低いが、その原因の一つとして、重症化するまで医療機関を受診していない可能性もあることから、将来的（生活習慣病の重症化率が高い年代（50歳以上）の人口が増える5～10年後）には、医療費が増大する可能性が高い。
3	虚血性心疾患の原因となるLDLコレステロールや血圧のコントロール不良群（未治療者含む）の割合が高い。
4	健診結果を分析すると「ほとんど噛めない男性の割合」「就寝前2時間以内の夕食ありの割合」「食事に関わる項目がNGの割合」が全国的平均よりも高い。
5	健康宣言事業所に対し積極的なサポートを実施しておらず手薄になっており、1つ1つの事業所に対しての声掛け（健診、保健指導の必要性や申請関係）や関わりが不足している。

※情報系システムから取得できるデータ等により、他支部との比較や時系列比較を行い、自支部特有の課題を抽出。

2. 埼玉支部 健康づくり戦略（案）

中期戦略プランを踏まえ、当支部における「支部健康づくり戦略」の構成及び主な取組は以下の通りです。

埼玉支部健康づくり戦略

I) 戦略目標

- ① 事業主・加入者のヘルスリテラシーを高めて、加入者自ら健康状態に関心を持つよう促し、健診受診率・特定保健指導実施率が全国のトップレベルになることを目指す。
- ② 将来的な医療費の増大を抑止するため、事業主・健診機関の協力・理解を得て、一体的に積極的な未治療者対策事業を推進する仕組みを形成する。

II) 戦略概要

健診や特定保健指導並びに重症化予防の取組みに加え、協会が保有する医療や健診、給付等のデータ分析を進め、地域・職域の特性を踏まえたポピュレーションアプローチに取り組むことで埼玉全体の健康水準を向上させることに積極的に取り組むなど、関係機関・業界団体との連携を強化し、地域・職域が一体となった健康づくりを推進する。

2. 埼玉支部 健康づくり戦略（案）

Ⅲ）3年間の主な取組

《健康の保持・増進》

[個人の特性に応じた支援]

- ・ 将来的な医療費の増大を抑止するため、まもなく生活習慣病の重症化率が高い年代になる40歳代の加入者に対し、健診結果や問診票の内容に応じた個別の情報提供を行う。
- ・ 健診機関や地域の企業と連携し、保健指導対象者が主体的に生活習慣の改善に取り組めるようサポートする環境を整える。

[健康経営の推進]

- ・ 1つ1つの事業所に対して丁寧な声掛けを行い、健診・特定保健指導の必要性や未治療者対策事業について理解度の向上と協力体制の強化を図る。
- ・ 健康宣言事業所に対し、事業所訪問等の積極的な介入を行い、事業所の抱える課題や問題の共有化を図り、共に解決できるよう協同する。

[健診の拡充]

- ・ 加入者に対して健診の必要性を広く周知するとともに、健診後の保健指導や未治療者対策事業につながるような広報の徹底を図る。
- ・ 被扶養者については、医師会や歯科医師会と連携して集団健診の実施期間及び実施場所の拡充を図る。

2. 埼玉支部 健康づくり戦略（案）

Ⅲ）3年間の主な取組

《健康の保持・増進》

[特定保健指導の量・質の向上]

- ・ 特定保健指導が未実施の事業所に対して、支部幹部を含めた事業所訪問を行い、健康経営の重要性を経営層に説明することにより、特定保健指導の受け入れ数の増加を図る。
- ・ 直営保健師等と特定保健指導実施機関の合同により、特定保健指導の継続率やアウトカム達成率等を見える化し、保健指導の質向上に向けた研修等を実施する。

[重症化予防の拡充]

従業員が受診した健診機関からの確実な受診勧奨が行われるよう、健診機関や事業主と一体的に積極的な未治療者対策事業を推進する仕組みを形成する。

[ヘルスリテラシーの向上]

- ・ 関係団体等と協力し、喫煙や食事に関する正しい知識の情報提供を実施する。
- ・ 小中高校生に対する健康教育を実施する。

2. 埼玉支部 健康づくり戦略（案）

Ⅲ）3年間の主な取組

《良質かつ効率的な医療の推進》

〔医療提供体制の確保・充実に向けた取組〕

埼玉県における地域医療構想・医師確保計画等の策定や取組みの推進に積極的に参画するとともに、埼玉県の現状や課題を把握し、病床機能の分化や医師偏在の是正等に向けた意見発信を行い、地域における効果的・効率的な医療提供体制の構築に向けて保険者に期待される役割を果たしていく。

〔医療費の適正化〕

- ・ 加入者が質の高い医療を将来にわたり持続可能な形で受けることができるよう、医療や健診、給付等のデータ分析を進め、医療費の適正化に資する取組を進める。
- ・ バイオ後続品（バイオシミラー）については、データ分析に基づく医療機関への働きかけを通じて使用促進を図る。
- ・ 薬剤師会（郡市薬剤師会）と連携し、地域フォーミュラリの導入・運用に向けて、データ分析や他地域の取組状況に関する情報提供を含め、地域の医療関係者と連携を図る。